

人類働態学会 20期 第6回理事会

日時：2009年10月31日（土）10：30～12：00

場所：筑波大学教育開発国際協力研究センター東京分室 E157

出席：榎原 毅、植竹照雄、片岡洵子、岸田孝弥、小木和孝、酒井一博、竹内由利子、中田英雄、橋本修左、平野和彦、真家和生、松田文子、水野基樹、水野有希

配布資料： 資料1 20期第6回理事会次第

資料2 J-STAGE に搭載される JHE のヘッダーデザイン

会員動向

<入会>

森島美佳、村木里志

●議事次第

1. 学会の次世代を担う人材育成の学会運営に関するワーキング

- ・ワーキンググループは、下田政博氏、真家和生氏、水野基樹氏（チーフ）、水野有希氏、森みどり氏の5名とし、担当理事は酒井一博とする。
- ・東日本地方会にてワーキンググループで作成したアンケートを実施し、11月27日に第2回WGを開催予定。1月末には答申案を提出予定
- ・西日本にもアンケート実施をお願いし、西日本の担当者として、庄司卓郎氏に打診中

2. J-STAGE に搭載される JHE のヘッダーデザインについて

- ・J-STAGE のフォーマットは編集員会で作業を行い、Vol. 38(1)から、来年の1月以降に掲載される。また、今年より前の号（vol. 1～37）の論文はPDF化し、アーカイブに掲載する。
- ・掲載内容は、巻頭言、オリジナル、コミュニケーション、プロシーディングスとし、そのリストを11月半ばまで作成する。J-STAGE の作業に関して、JHE 担当から要請があれば、アルバイトを頼むようにする。
- ・JHE の著作権は働態学会にあるとし、各著者に対して個々人に許諾を取るのには困難を要するため、インターネットを通して、許諾をしてもらう。許諾の連絡は、HP には邦文と英文、会報には次号に掲載する予定。
- ・J-STAGE のヘッダーは雑誌のイメージをモチーフにする。

●報告

1. 45回大会

- ・40周年記念大会および45回大会は、2010年6月11～13日に、中京大学で開催する。40周年記念大会では、IEA 会長に特別講演をお願いし、シンポジストも決定した。
- ・夏季研究会では、チェックリストを用いた改善を検討中。また、夏季研究会の夕方から理事と招待講演者を含めて懇親会を開催することを検討中。
- ・外国からの招待者には交通費を支払うことを検討しているため、企業の協賛、広告、参加費の検討、参加者を増員するなどの予算の確保をする。会報には広告は掲載しないで、プログラムに掲載する予

定。なお、学会の予算は、大会として 50 万、夏季研究会 5 万となっており、40 周年記念大会での予算を組むことを検討している。

- ・テーマは「現場改善と参加型アプローチ」

2. 各担当

JHE

- ・Vol.38(2)は 12 月中に出す予定。論文 5 編、プロシーディングスを掲載。

会報

- ・次回大会の内容を掲載予定。他に掲載原稿があれば、11 月 4 日までに原稿を入稿する。

広報

- ・適宜更新している。掲載すべきコンテンツがあれば、連絡してほしい。

東日本地方会

- ・11 月 22 日は共生シンポ、23 日は一般演題。
- ・共生シンポは「高齢者の生活と安全対策」として、4 題の事例提供をしてもらい、それを題材に 4 名の方（医療メーカー、民間支援、大学、コンサル）に問題定義およびコメントしてもらおう。

西日本地方会

- ・日本人間工学会の九州支部大会との共催。12 月 12 日開催

働態研究の方法

- ・前回 94 編から現在 102 編。年内に出版する予定

財務

- ・会費の 09 度分の未納分は 55 万、前回までは 137 万円。年に 1 回の請求から、2 回以上請求する。
- ・未納者には、何かしら学会のアクティブメンバーに入れて、学会との関連を持たせることも考える必要がある。

その他

- ・46 回大会と東日本地方会の開催場所をそろそろ決める必要がある。次回審議事項。
- ・高齢者の車内バス事故の統計（国交省）が、右肩上がりだったのが今年になって初めて減少（1,200 名→800 名）した。高齢者の安全のシンポもあるので、学会としての成果を PR（学会の HP や雑誌に投稿するなど）した方がよい。HP の記事は酒井一博氏にお願いする。
- ・来年の 1 月以降は、筑波の場所の提供ができない。今回は、東郷公園の南側に大妻の図書館の地下 1 階（最寄り駅：市谷）とする。

次回の理事会：2010 年 1 月 23 日 10:30～

以上